



連載

ビブリア・トーク
—私のオススメ—

… 井本和範 (株) 東芝

世界天才紀行

ソクラテスからスティーブ・ジョブスまで

エリック・ワイナー 著, 関根光宏 訳

早川書房 (2016), 448p., 2,600 円 + 税, ISBN : 978-4152096456



ああなたの身近には天才と呼ばれる人はいるでしょうか。3歳でヴァイオリンを弾きこなした Mozart は「生まれつき」天才と言われます。一方、「99%の努力と1%のひらめき」の名言を残した Edison のように天才は「つくられる」との考えもあります。どこか近寄りたがたい印象の天才ですが、「新しく、意外性があり、同時に役に立つアイデアを発想できる」創造的な才能との側面で捉えようと、イノベティブな技術や商品の創出を期待される私たちも育成したい能力の1つではないでしょうか。

本著では、特定の時代や場所に天才が集中して現れる歴史を紐解きながら、天才は「育てられる」との立場に立ちます。著者は、ニューヨーク・タイムズにも在籍したジャーナリスト、Eric Weiner。世界で最も幸せな国を探る旅をつづったベストセラー本『世界しあわせ紀行』で有名な旅行家でもあります。7つの街を旅する中で、多くの天才を輩出した時代や土地に隠された天才を育む背景を、個性あふれる人物との交流、街の散策、カフェでの思索を通して探っていきます。

天才をめぐるユーモアあふれる旅行記

旅の目的地として、アテネからシリコンバレーまで以下7つの街が選ばれています。天才が活躍した分野は哲学から情報処理まで多岐にわたりますが、どの土地や時代にも確かに複数の天才が同時に活躍しています。

<アテネ>

哲学, 考古学, Aristotelēs, 歴史, 観光

<杭州>

技術, 絵画, 詩, 歴史, 教育, 政治, 起業家

<フィレンツェ>

美術, da Vinci, Michelangelo, メディチ家宗教

<エディンバラ>

道徳, 医学, 化学, 工学, 経済, 地質, 酒場

<カルカッタ>

インド, 大英帝国, 植民地, 文学, 科学

<ウィーン>

音楽, Mozart, Beethoven, カフェ, Freud, 精神分析学, Einstein

<シリコンバレー>

アメリカ, 情報技術, Jobs, 起業, 教育

情報処理の分野に携わる皆さんの中では、やはり Steve Jobs を輩出したシリコンバレーに興味を持つ方が多いのではないのでしょうか？ 以降では、8章シリコンバレーに記載された内容に触れながら、本書を紐解いていきます。

シリコンバレーで天才が生まれる理由

長い歴史を持ち、芸術・科学・文学など複数の分野に影響力を持ったほかの都市と比べ、シリコンバレーの歴史はまだ浅く、分野も情報技術と限定的です。しかし、ここで生まれた製品は私たちの生活を一変させ、その商品を生み出す天才が多く生息する現在進行形の街です。著者は旅を通し、シリコンバレーの父と呼ばれる Turman にたどり着きます。教

え子の開発したオーディオ発振器が初めてディズニー映画製作に採用されるのを支援するなど、素早く・賢くアイデアが商業的に活かされる場所を見出すことに長けた人物です。なぜ、Turmanのような人物がシリコンバレーに生まれるのか？ 著者は、東海岸への対抗意識や若者の「不満」が1つの要因と説きます。これはほかの都市（スパルタ対アテネ）とも同じ構図です。さらに行き場を失った人が身を寄せるカリフォルニアの「度量の大きさ」も重要と説きます。人々の弱い結びつきを醸成しやすく、失敗が許容される土地柄の中で、天才の卵は価値ある科学的試行を繰り返すことができるのです。

天才を「育てる」街をつくれるか？

シリコンバレーの成功をほかの地域に輸出しようとの取り組み（テムズバレー、シリコンオアシスなど）はなかなか成功につながっていません。著者は、手段を目的とはき違えた苗だけの移植ではなく、背景にある「無秩序」「多様性」「選別力」を備えた土壌ごとの整備が大切と説きます。無秩序は現状を打

破して流れを変えるきっかけとなり、より多くのさまざまな種類の点を生み出すのに多様性は欠かせません。次々と新しい苗を育てて、より価値の高い苗を選別することで「新しく、意外性があり、同時に役に立つアイデアを発想できる」人を育成できるのです。

ユーモアあふれる紀行スタイルの表現が本書のもう1つの魅力で、どの章もからでも天才が育った時代を疑似体験し、背景を紐解くことができます。美術が好きな人はフィレンツェの路地を、中国が好きな人は杭州の湖畔を。著者と一緒に海外旅行に出かけて、天才たちが生きた時代を感じ、そのエッセンスを自分たちが生きる社会の中に取り込んでみてはいかがでしょうか？

(2017年7月3日受付)

井本和範（正会員） kazunori.imoto@toshiba.co.jp
2002年京都大学大学院情報学研究所知能情報学専攻修士課程修了。同年（株）東芝入社、現在に至る。同社研究開発センターインタラクティブメディアラボラトリー主任研究員。主に、画像音声メディア認識、UIの研究開発に従事。ヒューマンインタフェース学会会員。

